

第2回 NIE「わたしの推し記事」コンクール 中学校 最優秀賞

白石 里桜（西宮市立浜脇中学校2年）
私の推しは、「親ガチャの哲学」です！

選んだ記事：朝日新聞「be」2024年4月13日付朝刊別刷

見出し：「親ガチャの哲学」戸谷洋志 注目のインタビューから⑦ 生まれる環境は選べないけれど…

他人に薦めたいほど、どうしてこの記事に魅力を感じるか、この記事が広まれば社会にどんな変化があるかを書いてください（600字以内）

最近でも良く聞く「親ガチャ」という言葉ですが、私はこの言葉をよく使っていました。なにか親に不満があれば、「親ガチャ失敗したわ。」と言ってしまったり、他人の家庭環境をうらやんで、「親ガチャ成功でいいな。」などと言っていました。でもこの記事を読んでもうこの言葉を使うのはやめようと思いました。この記事は親ガチャの哲学となるものが書かれており、私は読んでみて納得する部分がとても多かったです。私が魅力を感じた所は、「生まれてきた環境によって、人生を変えることを最初から諦めてしまう。」という文がすごく心に刺さりました。自分の家はお金がないから他の人より上手にできないんだと思って最初から諦めたことが何度かありますが、それは単なる言い訳で、自分が都合よく努力しないための逃げ道を作っているだけなんだと考えることができました。私がこの記事を読んでほしい世代はとくに思春期の人達です。やりたい事が多くなりそれと同時にお金もなくなり、親がもっとお金持ちだったら良かったのにと憎むこともあるでしょう。でも親は親なりに私達子供のことを考えて愛してくれているのです。全てを親のせいにならず、自分が変わる事を探して自分自身と向き合おうと思える記事なので、ぜひたくさんの人に読んでもらって自分を変えるチャンスをつかんでほしいです。